

取り付け方法（取り付けを始める前に、裏面掲載の付属品を確認してください。）

1 取り付け前の確認

レンジフードNF90 / BSに採用されているブラックステンレスは素材の性質上傷つきやすく、補修することが出来ません。取り扱いには十分ご注意ください。

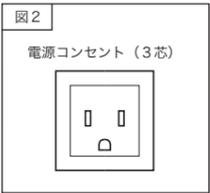
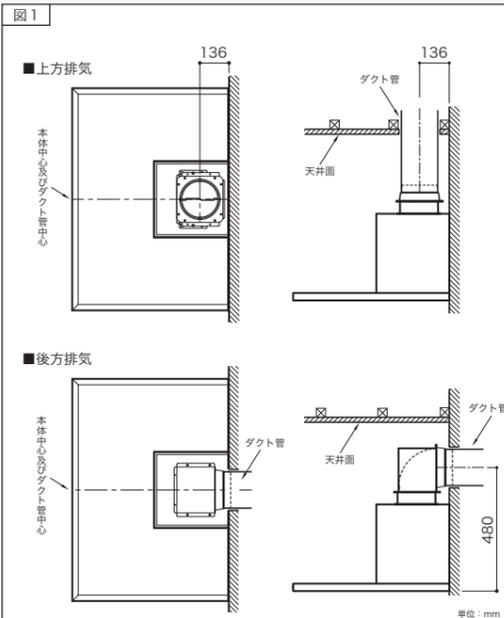
- (1) 施工前の準備
- 裏面「安全編」の「安全上のご注意」や「取付時のご注意」などを良く読んで施工して下さい。
 - 裏面「安全編」の最下段に記載されている付属品が全て揃っている事を確認して下さい。
- ※別売り部品を購入した際は一緒に確認して下さい。

- 注1) 製品を取り扱う際は薄板の切り口などで手を切る恐れがある為がありますので、必ず厚手の手袋を着用して下さい。
- 注2) 製品を取り付ける際は慎重に行い、傷・変形の無いように注意して下さい。

- (2) 取り付け壁面の確認
- ※取り付け壁面は、製品を支える強度が必要です。
- ※コンクリート・レンガ壁・GL壁などは別途補強材やアンカープラグを適正にご利用ください。
- 製品の重量を支持できる丈夫な場所に設置してください。
(製品重量：約26Kg)

- (3) 排気ダクト管の確認 (図1)
- 上方排気及び後方排気
フード本体中心の天井裏又は壁面の、所定の位置にφ150mmのステンレス管又はスパイラル管がきているか確認してください。

- (4) 電源コンセントの確認 (図2)
- コンセントは、専用のアース付3芯コンセントを使用してください。

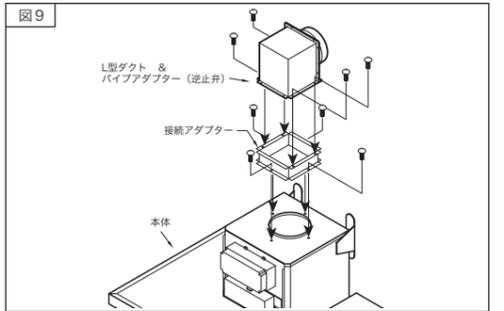
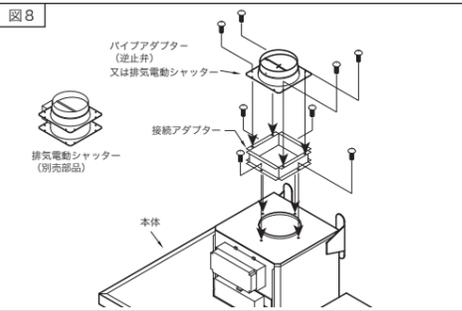


2 製品の取り付け準備

- (8) 接続アダプターの取り付け
※排気方向にご確認ください。

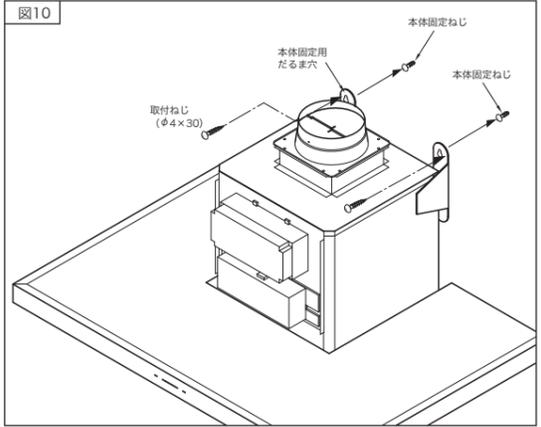
- <上方排気の場合> (図8)
- 付属品の接続アダプターを本体に取り付けます。付属のねじ (M4×10) 4本で取り付けます。
 - 取り付けアダプターの上に、パイプアダプター又は排気電動シャッターを付属のねじ (M4×10) 4本にて固定します。
- ※排気電動シャッター (VE150) を使用する場合は、付属の取付説明書も併せてご確認ください。

- <後方排気の場合> (図9)
- 付属品の接続アダプターを本体に取り付けます。付属のねじ (M4×10) 4本で取り付けます。
 - 取り付けアダプターに、前項で用意したL型ダクトを付属のねじ (M4×10) 4本にて固定します。



3 本体及び飾り筒の取り付け

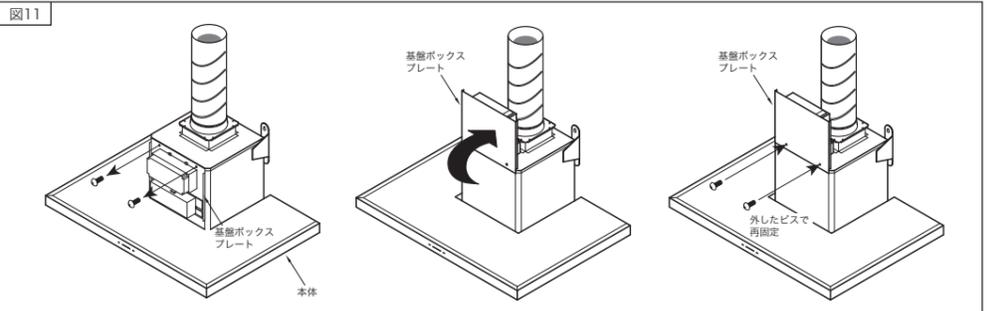
- (1) 本体の取り付け
- 「2 製品の取り付け準備」で壁に取り付けた本体固定ねじに、本体背面のたるま穴を掛けます。(図10)
 - 左右のダルマ穴を確実に掛け、本体固定ねじを確実に締め付けてください。(図10)
 - ダルマ穴の横にある穴にも付属のねじ (φ4×30) で固定してください。



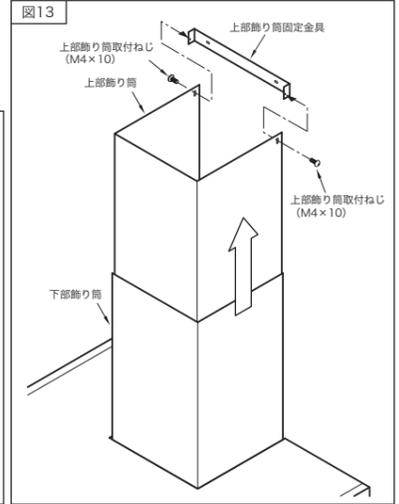
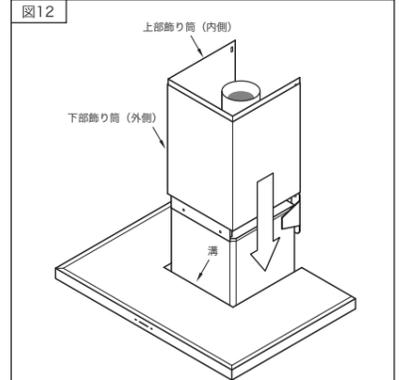
- (2) 排気ダクト管の接続
- φ150mmのダクト管の先端を、本体のパイプアダプター又は排気電動シャッターの接続口と接続し、アルミテープで固定してください。

- (3) 基盤ボックスプレートの再設置 (図11)
- 本体正面の基盤ボックスプレートのねじを2本外します。
 - 基盤ボックスプレート裏返し、ダクト側へ基盤ボックスが来るように起こします。
 - 前項で外したねじで再固定します。
- ※この時、配線を挟んだり無理に力が掛からないように注意してください。断線する可能性があります。

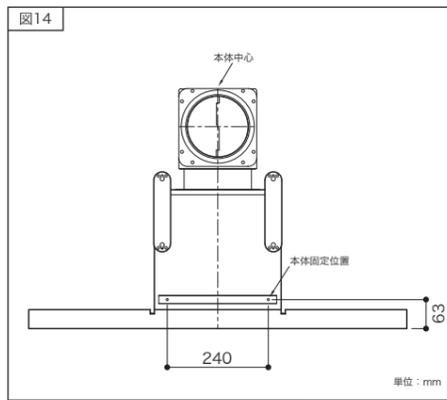
- (4) 配線の接続
- 基盤ボックスから出ている電源ケーブルをコンセントに接続して下さい。
- ※必要に応じて、次項からの取り付けより先に試運転をして下さい。



- (5) 飾り筒の取り付け
- 上下部飾り筒を重ね合わせて本体の溝に落とし込んで下さい。(図12)
 - 上部飾り筒をスライドさせ、事前に取り付けた上部飾り筒固定金具に筒の外側から付属のねじ (M4×10) 2本にて固定してください。(図13)
- ※飾り筒を取り付けた際に、飾り筒と天井面及び壁面の接触部にはコーキングをしないでください。ダクトに関する部分のメンテナンスができなくなります。



- (6) 本体の最終固定
- 本体の最終固定を付属のねじ (φ4×60) にて行ってください。(図14)
- ※この時、本体固定ねじが製品重量を支える事が出来る部分 (木部など) まで確実に届いていることを確認して下さい。
- 届いていないと製品が確実に固定出来ず、落下・振動などの原因になります。届いていない場合は石膏ボード等の厚みを計算し付属の本体固定ねじよりも長いものを別途準備して使用して下さい。



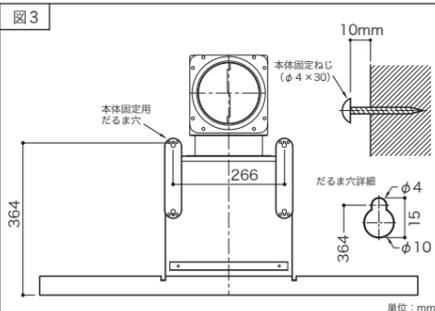
- (7) パーツの取り付け
- グリスフィルターを外した時の逆の手順で取り付けます。
 - 整流板を外した時の逆の手順で取り付けます。

2 製品の取り付け準備

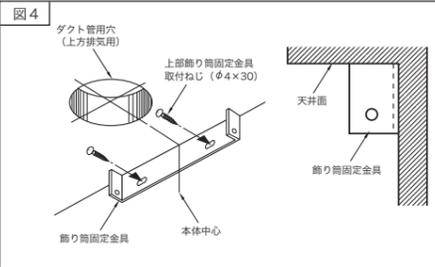
- (1) スミ出し
- 本体の中心位置を出す。
 - 天井高及び使用される方の身長を考慮、調理器具上からフード下端までを80cm以上とし本体下端位置を出す。
- ※火災予防条例により隔離距離が80cm以上と定められています。

- (2) 天井面又は壁面の穴開け
- 天井面又は壁面に、排気ダクト管 (φ150mm) を通す穴を開けます。

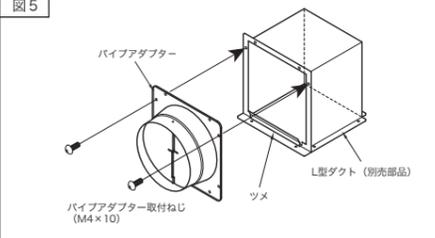
- (3) 本体固定ねじの取り付け
- 付属の本体固定ねじ (φ4×30) を所定の位置に取り付けます。
- 本体固定ねじは壁面から10mmまで締め付けてください。(図3)
- ※この時、本体固定ねじが製品重量を支える事が出来る部分 (木部など) まで確実に届いていることを確認して下さい。
- 届いていないと製品が確実に固定出来ず、落下・振動などの原因になります。届いていない場合は石膏ボード等の厚みを計算し付属の本体固定ねじよりも長いものを別途準備して使用して下さい。



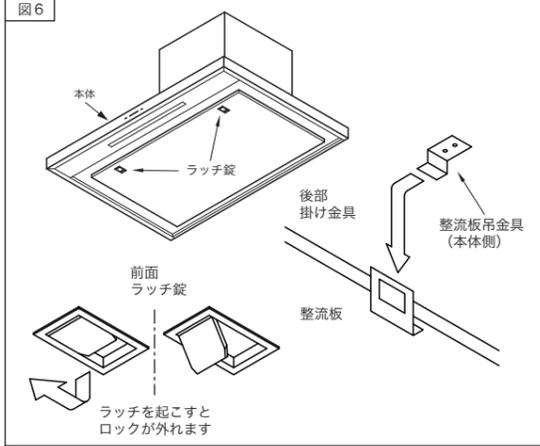
- (4) 飾り筒固定金具の取り付け
- 飾り筒固定金具の取り付けは、本体の中心と金具の中心をあわせて付属のねじ (φ4×30) で壁面に固定してください。(図4)
- ※図4のように飾り筒固定金具の上端を、天井面にぴったりとつけて固定すれば、上部飾り筒上端と天井面との隙間を空ける事なく取り付けの事が出来ます。



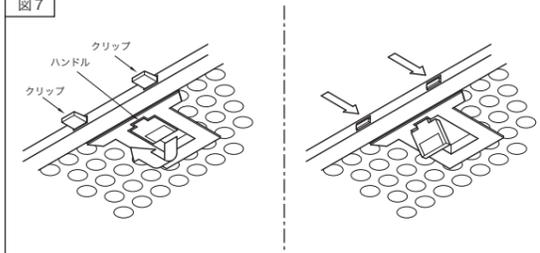
- (5) 後方排気の場合
- パイプアダプターの取り付け
L型ダクト (別売部品) のツメに、パイプアダプターが掛かるように設置し付属のねじ (M4×10) で固定して下さい。(図5)
- ※NF90はL型ダクト (別売部品) と排気電動シャッター (別売部品) を組み合わせて使用することが出来ません。



- (6) 整流板の取り外し
- 整流板が落下しないように両手でしっかりと支えながら左右のラッチ錠を引き起こし前面のロックを外します。(図6)
 - 整流板後部が整流板吊金具に引っ掛かっているため金具の変形に十分注意しながらゆっくりと外します。(図6)



- (7) グリスフィルターの取り外し
- ハンドルを持ち上げる事により、本体に取り付いているクリップが外れるので落下しないようにゆっくり外して下さい。(図7)
- ※フィルターが落下する恐れがある為、必ずグリスフィルター全体を支えながらハンドルを引いてください。



5 試運転

※運転時にファンの中に手や物を入れないでください。怪我・故障の恐れがあります。

- 本体の操作を「取扱説明書」【ご使用のしかた】に従って正常に動作するか確認して下さい。
- 運転時、異常な騒音や振動が無いことを確認して下さい。
- 屋外の排気口より、排気されているか確認して下さい。
- 弊社製の排気電動シャッターを取り付けた場合は、本体スイッチと連動し開閉しているか確認して下さい。
- 他社製の給気電動シャッターを取り付けた場合は、本体スイッチと連動し開閉しているか確認して下さい。
- 取付上、施工上発生した不具合でメンテナンスを依頼される場合、保障期間内であっても有料となりますのでご確認ください。

※上記作業が終わりましたら、この取付説明書はお客様にお渡し下さい。

クックフード取付説明書（安全編）

安全上のご注意（必ずお守りください）

■この説明書は安全上、特に注意していただきたい内容についてとりあげたものです。この[安全上のご注意]をよくお読みのうえ製品を取り付けてください。

■具体的な取付方法については、取付説明書（施工編）をご覧ください。

■ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付けて、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすることと生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

- 警告**：人が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容。
- 注意**：人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

- このような絵表示は、してはいけない【禁止】内容です。
- 図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。
- この絵表示は、必ず実行していただく【強制】内容です。
- 図の中や近傍に具体的な指示内容が描かれています。

絵表示の例		左図の場合は、「分解禁止」が描かれています。
		左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜いてください」が描かれています。

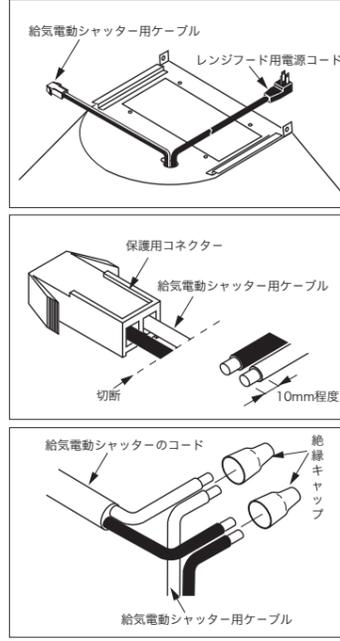
警告

- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に本体、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないように取り付けること。
漏電した場合、発火したり感電することがあります。
- 効率よく排気させるには、空気の取り入れ口（給気口）を設けること。とくに密閉された厨房には、φ150mm以上の給気口を用意してください。（寒冷地では、電動シャッター付給気扇をご使用ください。）
- 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないこと。発火・感電したり、異常動作してけがをすることがあります。

注意

- 本体の取り付け及び、部品の取り付けは十分強度のあるところを選んで確実にこなうこと。落下によりけがをすることがあります。
- 交流100V以外では使用しないこと。火災や感電の原因となります。
- 運転中は、羽根の中に指や物を絶対に入れないこと。けがをすることがあります。
- 電気工事は必ず電気工事に依頼すること。電気設備技術基準や内線規定に従って安全確実に行なうこと。誤った電気工事は感電や火災の恐れがあります。

給気電動シャッター用ケーブルの接続（他社製品の場合）



※排気用ファン（レンジフード）と給気電動シャッターを連動させるには、給気電動シャッター側のコードと、給気電動シャッター用ケーブルを接続してください。（接続方法は、下記の要領で行なってください。）

- 給気電動シャッターのコードと給気電動シャッター用ケーブルの接続
 - 給気電動シャッター用ケーブルの保護用コネクター側のケーブルを、ニッパ、ペンチ等で切断し、ケーブルの被覆をめくります。この時、ケーブルの被覆をめくる長さは、10mm程度にします。
 - 給気電動シャッターのコードと、給気電動シャッター用ケーブルとを絶縁キャップで、圧着して接続します。

注：給気電動シャッターのコード及び、給気電動シャッター用ケーブルの被覆をめくる長さは、絶縁キャップよりはみ出ない様にしてください。

- 試運転

※レンジフードの電源コードを仮設コンセントに差し込んで試運転を行い、下記の内容を確認ください。

 - レンジフードスイッチの ON/OFF ボタンを押して、レンジフードファン（排気ファン）と給気電動シャッターが連動して動作するか確認してください。
- レンジフードスイッチのどの速度でも、給気電動シャッターは作動します。又、給気電動シャッターは3A以内のものをご使用ください。
- 給気電動シャッター用ケーブルは、入力用電源コードではありませんので、給気電動シャッター以外には、ご使用にならないでください。負荷がかかり過ぎるとスイッチ本体が故障する危険があります。

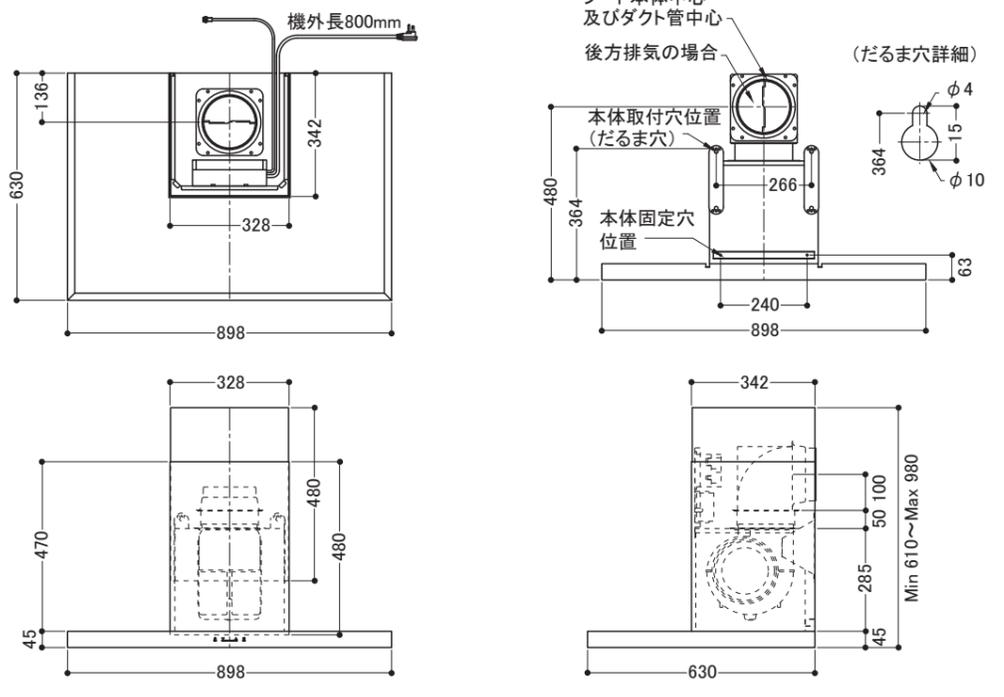
取付け時のご注意

※排気工事をされる場合、建築基準法（同施工法）および消防法等の関連法規に合わせ実施してください。

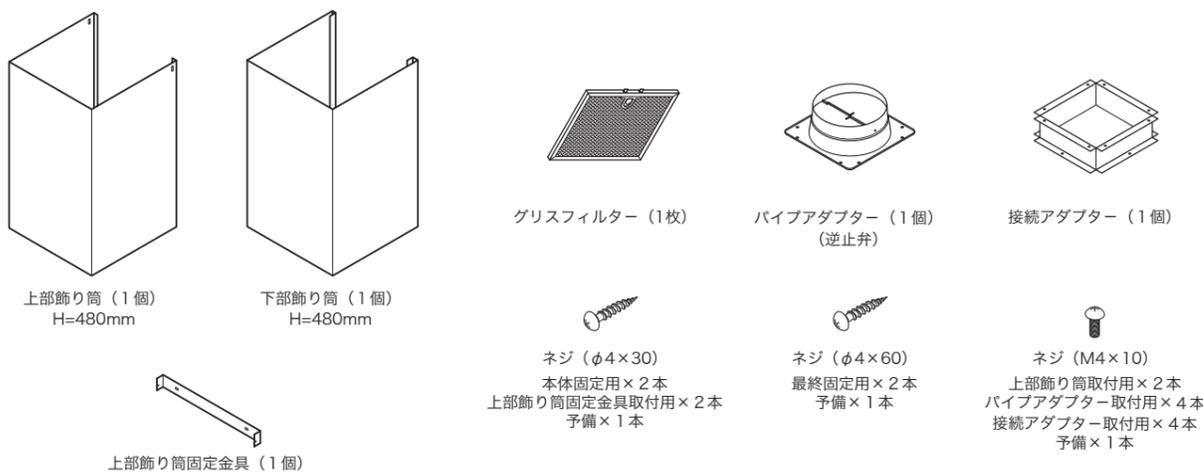
- レンジフードの取り付けは、建物の金属部（壁内ラス網等）と接触しないように、十分注意して工事してください。なお、本体の埋込みは、絶対にやめてください。壁内のラス網に漏洩電流がある場合、本体に流れてきます。
 - 取り付け高さは、ガスレンジの真上80cm以上になるようにしてください。低すぎると、お台所仕事のさまたげになったり、高熱による故障の原因にもなります。
 - レンジフード下部には、湯沸器を絶対に取り付けしないでください。また横方向は50cm以上離してください。湯沸器の真上は高熱になるため故障の原因となります。
 - ガスレンジ幅はレンジフードファンの幅以内のものをご使用ください。
 - 非常に長いダクトあるいは極端に屈曲したダクトは排気効果をいじりしく低下させたり、騒音が大きくなりますのでご注意ください。
 - レンジフードの重量は約26Kg（仕様により異なります）です。取り付け前に取付部の強度をよく確かめてください。取付部の強度が弱くと落下したり、振動の原因となりますので、補強工事をしたのちに製品を取り付けてください。
 - 室温が40℃以上になる場所、薬品を使う場所には取り付けしないでください。絶縁が悪くなり、感電する恐れがあります。またスイッチ部分やモーターなどがいたんだりすることがあります。
 - スイッチの改造等仕様を変更してのご使用はさけてください。
 - 効率よく換気させるため、排気用ダクトの大きさ以上の空気取り入れ口を部屋の反対の位置に設けてください。とくに、寒冷地などの気密性の高い部屋で、自然排気型のストーブをご使用の際は、空気がストーブ排気口より逆流し危険な燃焼状態になる恐れがありますので、フード付きガラリなどにより、十分給気される配慮をしてください。
- ※当レンジフードは、給気電動シャッター用ケーブルがついております。必要に応じてご使用ください。
- 部屋の中央で料理される場合は、捕集しきれませんので、台所の全体換気のために、他の換気扇と併用していただければ、よりすぐれた換気ができます。
 - 取り付け後、天井、壁などに内装用接着剤や塗料が使用される場合がありますので、本体に保護材を被せてください。

製品寸法図

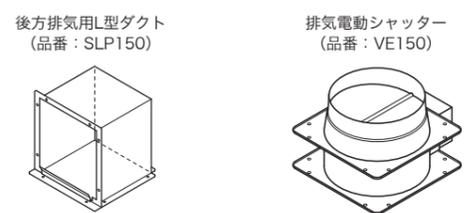
■NF90



付属品



別売部品



※SLP150とVE150を組み合わせることは出来ません。